

## 第2協議題（進路指導について）

発表者 所属校 群馬県立館林女子高等学校  
役 職 P T A 会長  
氏 名 木村 有一

### 「本校の P T A 活動と進路指導」

#### 1 本校の概要

本校は、1917（大正6）年に館林町立実科高等女学校として開校しました。その後、女子の普通教育を望む地域の声を受けて、大正11年に館林町立高等女学校となりました。翌12年に県に移管され、群馬県立館林高等女学校と改称しました。昭和23年の学制改革により、群馬県立館林女子高等学校と改称し、現在に続いております。2017（平成29）年には、創立百周年記念式典が挙行されました。

そして今年、創立105周年を迎えた歴史と伝統を誇る女子高校です。



3年生進路講演会の様子

#### 〈校 訓〉

自律自治	自らを律して規範に従い、進んで行動しよう。
温雅健康	優しく上品で、心身ともに健康な女性になろう。
敬愛親和	互いに尊敬の念をもって接し、みんなと親しみ仲良くしよう。

#### 2 P T A 組織について

本校は、現在学年制を取り入れています。本部役員以外に各学年より10名のP T A 学年委員を選出しています。専門部の一つである文化部は、1学年委員並びに1学年本部役員が担当し、会員間の文化的活動を計画・実施します。また、生活部は2学年委員並びに2学年本部役員が担当し、高校生としての基本的な生活習慣の育成のための協力体制をつくります。さらに、進路部は3学年委員並びに3学年本部役員が担当し、生徒の進路希望の実現を期するための協力体制をつくります。昨年までは支部制でしたが、生徒数の減少等により、支部活動が困難となり、学年制に移行しました。本部役員、学年委員長、学年副委員長が評議員会を構成し、それが、P T A 総会に次ぐ議決機関となっております。

・主なP T A 行事（今年度 予定も含む）

4月 P T A 入会式、本部役員会、評議員会、進路講演会（3年）

5月 P T A 総会（書面開催）、P T A 新聞発行

- 6月 県高校PTA連合会総会（書面開催）、進路講演会（2年・1年）
- 7月 関東高校PTA連合会大会神奈川大会（オンライン）
- 8月 全国高校PTA連合会大会石川大会（オンライン）
- 9月 県下一斉マナーアップ運動、2年保護者会（修学旅行関係）
- 10月 東毛地区指導者研究集会、PTA新聞発行、進路講演会（1年）
- 11月 県下一斉マナーアップ運動、県高校PTA連合会指導者研究集会  
本部役員会、評議員会、本部役員選考会
- 3月 PTA新聞発行、卒業祝賀会、入学予定者説明会、本部役員会

### 3 進路指導とPTA

#### (1) 過去5年間の進路状況

年度 \ 内訳	卒業生数	大 学	短 大	専 修 各 種	就 職	その他
平成29年度	232	140	19	57	2	14
平成30年度	238	139	25	64	4	6
令和元年度	238	154	20	57	1	6
令和2年度	196	118	22	47	3	6
令和3年度	197	133	14	45	0	6

#### (2) 主な進学先

- 国公立大学 群馬大学 新潟大学 埼玉大学 宇都宮大学 茨城大学 山形大学  
静岡大学 群馬県立女子大学 群馬県立県民健康科学大学 等
- 私立大学 自治医科大学 獨協医科大学 群馬医療福祉大学 群馬パース大学  
高崎健康福祉大学 女子栄養大学 獨協大学 文教大学 神田外語大学  
大妻女子大学 北里大学 昭和女子大学 順天堂大学 成蹊大学  
大東文化大学 中央大学 東洋大学 東京家政大学 東京女子大学  
東京電機大学 日本大学 日本女子大学 法政大学 明治学院大学  
立正大学 等
- 短期大学 佐野日本大学短大 育英短大 大妻女子大学短大 等
- 専門学校 太田高等看護学院 館林高等看護学院 等

#### (3) PTA進路部の活動

私たちが高校生時代だった時と比べると、近年の大学入試は大きく変化しています。子どもから進路に関わる相談があった時に、保護者が現状を正確に把握したうえで助言しなければなりません。そこで、進路講演会に保護者も参加できるようにしています。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から一昨年はすべて参加できませんでした。昨年は保護者も参加できました。その際に、2年生の保護者から前年に参加できな

った1年生秋の進学資金説明会のオンライン配信を望む声があり、それを実現させました。

今年度は、各学年とも保護者参加のもと、進路講演会を無事行うことができました。本校では、3年生の進路講演会の際に奨学金の説明会も行う、1年生の進路講演会の際に進学資金説明会も行うなど、保護者が数多く参加できるよう工夫をこらしています。



2年生進路講演会の様子



1年生進路講演会の様子

以下は、1年生の進路講演会に参加した保護者の感想です。

- 1 本日は、とても大切なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。あこがれの館林女子高校に入学し、これからの進路について考え始めていた時期だったので、子どもと一緒に話し合う良い機会になりました。将来の夢の実現のために、親として精一杯サポートしていこうと思います。
- 2 大学入試を取り組み始める時期や学習時間の確保の方法などとても参考になりました。成績上昇・下降が起きやすい、1年の後半に、しっかり学習時間が確保できるように家庭でもサポート、声かけしていきたいと思います。ありがとうございました。
- 3 進路について家庭で話す機会はまだまだありませんでしたが、この講演会をきっかけに親子で話していくことができれば良いと思います。
- 4 入学して約2ヵ月、1年生だから進路についてはまだまだ先のことと思いながら講演会を聞いていましたが、今からやれることはあるんだ！と気付かされました。大学の数も考えたことなどなかったし、今は学習歴の方が大事なことも、なるほどと思いました。まずは授業をしっかり聞いてそこで理解する、目を進路実現に向ける、このことをしっかり親子で理解していこうと思いました。

進路講演会がきっかけとなり、親子で進路について話し合う機会が増えることは歓迎すべきことです。子どもが何を考え、何を悩んでいるのか、話し合いを通して気づくことができます。保護者も最新の情報を知ることができ、良い刺激を受けているようです。今後

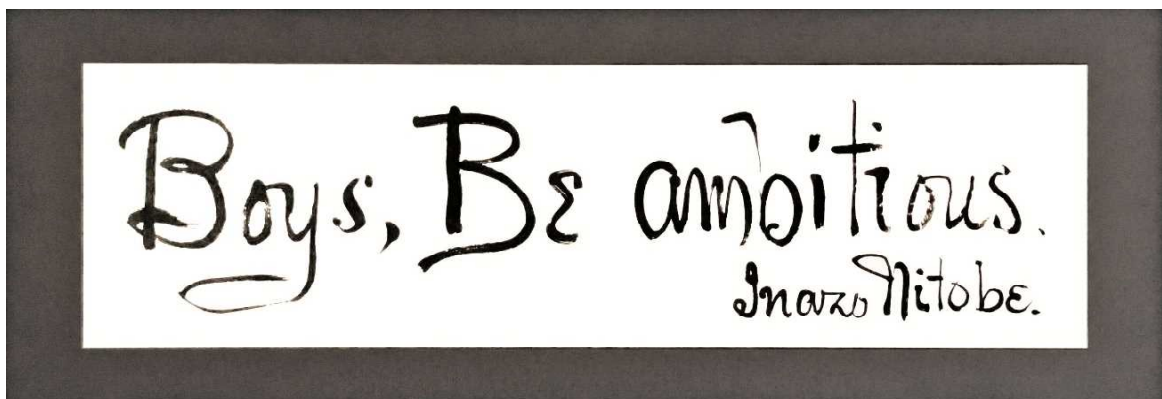
も、進路講演会に多くの保護者が参加することを望んでいます。

進路講演会と一緒に行われる学校側による学年概況等の説明も、学校公開が行われなくなっている今、子どもたちの学校での様子を知ることができ、保護者も喜んでおります。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、今年度の進路講演会の運営を学校側にお任せしました。しかし、進路講演会の際にPTAがどこまで学校側のお手伝いができるのか、考えていかなければなりません。それが、現在の課題です。

#### 4 おわりに

PTAの組織改編を無事に行うことができ、新たな気持ちで新年度のスタートをきることができると思いましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、PTA活動が思うようにできません。新型コロナウイルス感染症が収束したとしても、一昨年に15クラスとなった本校は、PTA会員の減少とPTA会費減少のため、以前と同様の活動を行うことは難しい面もあります。子どもたちのために何が必要か、常にそれを念頭に置きつつ、学校側と協力してPTA活動を進めて参りたいと思います。



1917（大正6）年11月17日、新渡戸稲造氏の講演会が、本校が校舎の一部を間借りした現在の館林市立第一小学校で開催されました。その時に、新渡戸氏から本校に贈られた書が、上の写真です。

「理想を高くするということが必要である」と説く新渡戸氏は、東京女子大学の初代学長を務めるなど、女子教育にも熱心な方でした。上の書は、新渡戸氏から開校間もない本校の生徒に贈られた激励の言葉です。あまりにも有名な「Boys, Be ambitious.」ですが、本校では「Boys」を「Girls」と読み替えて「Girls, Be Ambitious～少女たちよ、大志を抱け」というスローガンのもと、文化祭を行ったこともあります。

「Girls, Be Ambitious～少女たちよ、大志を抱け」という言葉を、私たちも大切にしたいと考えております。子どもたちが夢と希望を抱き高校生活を送ることができるよう、微力ではありますが、PTAとしてできるだけのことをして参りたいと思います。